

新城設楽普及だより

新城設楽農林水産事務所

令和6年度 春号

農業改良普及課

北設楽郡設楽町田口字小貝津6-2

TEL: 0536-62-0546

FAX: 0536-62-1533

メール（共通）: shinshiroshitara-fukyu@pref.aichi.lg.jp

事務所ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/soshiki/shinshiroshitara-nourin/>

ネット農業あいち <http://www.pref.aichi.jp/nogyo-keiei/nogyo-aichi/>

新城駐在室

新城市石名号20-1

TEL: 0536-23-2172

FAX: 0536-23-6010



課長
井上 勝弘

本年4月の定期異動では、5名が転入し、うち新規採用職員が1名います。新たな顔ぶれの農業改良普及課職員20名が一丸となり生産者や関係機関の皆様と連携しつつ地域農業の振興に努めてまいります。

農業の現場では農家数減少とそれに伴う担い手の減少、気候変動をはじめとした環境の変化など、多岐にわたる課題に直面しています。当課では、新城設楽地域の実情を踏まえ、これからも「技術伝承と革新、人づくりによる特色ある奥三河農業」を実現するために、新技術・新品種の導入や担い手育成に努めてまいります。今後とも協同農業普及事業の推進に御理解と御協力を賜りますよう厚くお願い申し上げます。

農業経営士設楽分会が県農業総合試験場を視察



スマホアプリを使いトマトの病害虫診断を試す農業経営士会員

愛知県農業経営士協会設楽分会が1月22日、最新の試験研究の取り組みを学ぶため愛知県農業総合試験場を視察しました。

最初に副場長からあいさつがありました。次に、試験場の施設と試験研究について説明があり、スマホアプリを使ったAIによるトマトの病害虫診断とアライグマ専用の捕獲わなについて紹介がありました。

AIによる病害虫診断では、うどんこ病に罹病したトマトの株が事前に用意されており、実際に体験することができました（写真）。会員がスマホでトマトを撮影すると、数秒で診断結果が画面に表示され、会員からは、「これは助かる。今後使ってみたい。」との感想が聞かれました。

イチゴ新品種「愛きらり」の本格出荷開始！

令和6年度からイチゴの新品種、愛きらり（愛経4号）の本格出荷が始まります。愛きらりは農業総合試験場で育種され、ブランド名は育成関係者内の公募で決められました。名前の通り、ツヤのある果皮と整った果形が特徴で、新城市で広く栽培されている慣行品種より平均糖度が高いです。

農業改良普及課は、昨年度は愛きらりの試作者4名の技術指導を行いました。育苗期の病害で必要な苗数が確保できなかった生産者もありましたが、収穫期では慣行品種よりも早く出荷でき、栽培管理の作業も楽な点が評価されました。

販売単価は慣行品種よりも高く推移しました。

令和6年度は、新城市で愛きらりを栽培する生産者は8名となり、ますますの普及が期待されます。



新城市の生産者が試作した愛きらり